

高知カツオ県民会議 第24回カツオ食文化分科会 議事録

場 所 土佐料理 司本店

開催日 令和元年12月11日 18:00~19:00

参加者

(株)丸三 岡内啓明	和建设(株) 中澤陽一
高知県調理師連合会 大下正治	ザクラウンパレス高知新阪急 中西克行
麒麟ビール(株)高知支社 大石恭三	アサヒビール(株)高知支社 植田泰正
土佐鶴酒造(株) 川西雄司	(株)エースワン 天羽智彦
高知県調理師匠庖会 明神靖	高知中央市場鮮魚仲卸協同組合 徳廣好彦
高知商工会議所青年部 森田倫光	高知カツオ県民会議事務局 松岡洋介
高知カツオ県民会議事務局 奥代智	食文化分科会事務局 別府康高

合計14名

1. 2020年の食文化分科会の活動方針について

座長より、今年取り組んできた事業について説明がおこなわれ、次年度活動方針の協議を実施した。今期の取り組みとして、

- ①カツオマイスター制度の設立
- ②だし文化の研究
- ③『鰹・カツオと土佐人』の再販の検討

以上があったが、2020年は①カツオマイスターに特化して活動していくことが確認された。

カツオマイスター制度の拡がりを作るために、行政また知事の支援をどう受けていくのが課題である。高知県知事名でカツオマイスターの認可ができる手続きや仕組みの研究をすることも、今後の活動として提案された。

その他に、カツオマイスターを取得した後、その活用についてカツオ県民会議のフォローが必要ではないかという意見があった。現在、マイスターグッズの配布をしたのちは、その活用についてマイスター本人に任されているので、なかなかメリットを感じてもらえない実態がある。行政支援や、費用負担、その他にもクリアしないといけない課題はあるが、例えば、

- ・カツオパスポート
- ・カツオマイスターの名刺
- ・地元紙によるカツオマイスターの週替わりでの紹介

その他様々な方策を、カツオマイスターの地位、ブランド向上の案として協議したい。

2. その他

分科会、合同分科会が複合して開催されており、過密なスケジュールは会員の負担が大きいとの意見があった。カツオ県民会議のブランド力や全体の有り様としての効果は高い企画であるのだが、参加できない回数が増えると、会議そのものから足が遠のいてしまうことが懸念される。

【次回日程】

日 時: